



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場取引所 東大

上場会社名 日本電気硝子株式会社  
 コード番号 5214 URL <http://www.neg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 有岡 雅行  
 (氏名) 松本 元春

TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	95,715	△9.9	28,003	△31.7	27,515	△32.3	13,688	△44.6
23年3月期第1四半期	106,222	69.7	40,996	296.4	40,668	404.1	24,722	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 14,243百万円 (△43.2%) 23年3月期第1四半期 25,077百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	27.52	—
23年3月期第1四半期	49.70	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	702,101	—	479,111	—	—	67.5
23年3月期	692,622	—	468,037	—	—	66.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 473,956百万円 23年3月期 463,709百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	7.00	13.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00 ～8.00	14.00 ～15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	185,000	△9.1	49,500	△32.2	47,500	△33.5	26,500	△37.7	53.27
通期	～195,000	～△4.2	～54,500	～△25.3	～52,500	～△26.5	～29,500	～△30.6	～59.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報に記載のとおり第2四半期(累計)の業績予想をレンジ形式により開示しています。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は添付資料3ページ2.サマリー情報(その他)に関する事項をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	497,616,234 株	23年3月期	497,616,234 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	193,773 株	23年3月期	166,179 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	497,442,781 株	23年3月期1Q	497,465,914 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) （参考）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

[第1四半期累計期間]

## ①概況

電子・情報用ガラスは、販売が減少した前四半期（平成23年1月1日～3月31日）からは増加基調に転じましたが、主力の薄型パネルディスプレイ（FPD）用ガラスの需要が盛り上がり欠け、販売は緩やかな回復に止まりました。その他用ガラスは、ガラスファイバの需要が海外市場を中心に堅調であったことから販売が増加しました。この結果、FPD用ガラスを中心に需要が旺盛であった前年同四半期（平成22年4月1日～6月30日）との比較では減収・減益となりましたが、当第1四半期累計期間の業績は、前四半期と比べると売上、利益ともに回復に転じました。

## ②経営成績

	前第1四半期累計期間 (22/4～22/6) (億円)	当第1四半期累計期間 (23/4～23/6) (億円)	増減 (%)
売上高	1,062	957	△10
営業利益	409	280	△32
経常利益	406	275	△32
純利益	247	136	△45

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期累計期間 (22/4～22/6)		当第1四半期累計期間 (23/4～23/6)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報用ガラス	903	85	775	81	△128	△14
	その他用ガラス	159	15	182	19	23	14
合計		1,062	100	957	100	△105	△10

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

## ・電子・情報用ガラス：

FPD用ガラスの販売は需要が旺盛であった前年同四半期との比較では減少しましたが、前四半期の水準を上回りました。光関連ガラスの販売が中国などの新興国における需要回復に伴い増加した一方で、イメージセンサ用カバーガラスの販売は需要停滞の影響を受け減少しました。

## ・その他用ガラス：

ガラスファイバの販売が自動車部品向けを中心に海外市場で堅調に推移しましたが、建築用や耐熱ガラスの販売は住宅・建築関連の需要低迷により伸び悩みました。

## (損益面)

FPD用ガラスの生産が軌道に乗ってきたことに加え、フロート関連製品やガラスファイバの収益改善が利益の回復に寄与しました。この結果、前年同四半期との比較では減益となったものの、前四半期と比べると増益となりました。

## (2) 連結業績予想に関する定性的情報

	23年3月期 第2四半期累計期間 (22/4～22/9) (億円)	24年3月期 第2四半期累計期間 (23/4～23/9) (億円)	増減 (%)
売上高	2,035	1,850～1,950	△9～△4
営業利益	729	495～545	△32～△25
経常利益	713	475～525	△33～△26
純利益	425	265～295	△38～△31

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

第2四半期(平成23年7月1日～9月30日)に関しては、電子・情報用ガラスの本格的な需要回復にはなお時間を要するものと予想しています。その他用ガラスについては、ガラスファイバで安定的な需要を見込んでいますが、住宅・建築関連分野は低調な状況が続くものと予想しています。

第1四半期の業績に上記見込みを加えた第2四半期累計期間の連結業績予想は、前年同期実績を下回る見込みです。

なお、当社を取り巻く国内外の情勢は変化が激しく、かつ、そのテンポは非常に速いため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。つきましては、第2四半期連結累計期間の業績予想をレンジ形式により開示させていただきます。諸要素が当社の想定(期初計画)よりも上振れる(好転する)形で推移した場合はレンジの上限に近づき、逆に下振れる(悪化する)形で推移した場合はレンジの下限に近づくと予想しています。

## (業績予想の開示について)

証券取引所が定める適時開示基準に基づく開示に加え、投資家の皆さまに、より迅速・適切な業績情報をご提供するべく、以下の要領で業績予想をお知らせします。

予定時期	当期業績見込み(累計ベース) (数値開示)
6月下旬	第1四半期
9月下旬	第2四半期
12月下旬	第3四半期
3月下旬	通期

なお、四半期ベースでの次期見通しについては、四半期業績発表の際に決算短信上で開示します。

本資料に記載されている業績予想は、当社が合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、ドル・ユーロなど対円為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にもさまざまな要素があります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	118,808	99,211
受取手形及び売掛金	64,357	74,331
商品及び製品	24,733	28,317
仕掛品	1,585	1,568
原材料及び貯蔵品	19,054	18,582
その他	10,907	12,597
貸倒引当金	△539	△121
流動資産合計	238,908	234,487
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	319,105	319,436
その他（純額）	98,317	112,739
有形固定資産合計	417,422	432,176
無形固定資産		
投資その他の資産	1,340	1,346
その他	35,222	34,369
貸倒引当金	△271	△277
投資その他の資産合計	34,950	34,091
固定資産合計	453,714	467,613
資産合計	692,622	702,101
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,757	44,181
短期借入金	41,534	61,527
未払法人税等	15,462	11,214
その他の引当金	147	5,043
その他	42,425	37,847
流動負債合計	142,326	159,813
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	29,738	8,906
特別修繕引当金	29,766	31,543
その他の引当金	1,679	1,665
その他	1,073	1,060
固定負債合計	82,257	63,176
負債合計	224,584	222,990

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,357	34,356
利益剰余金	403,355	413,561
自己株式	△233	△263
株主資本合計	469,634	479,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,139	1,680
繰延ヘッジ損益	△32	△27
為替換算調整勘定	△9,032	△7,507
その他の包括利益累計額合計	△5,925	△5,854
少数株主持分	4,328	5,155
純資産合計	468,037	479,111
負債純資産合計	692,622	702,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	106,222	95,715
売上原価	59,511	60,777
売上総利益	46,711	34,938
販売費及び一般管理費	5,714	6,935
営業利益	40,996	28,003
営業外収益		
受取利息	57	41
受取配当金	108	247
為替差益	—	226
その他	606	412
営業外収益合計	772	927
営業外費用		
支払利息	281	245
為替差損	226	—
固定資産除却損	207	553
仕損品損失	—	309
その他	384	306
営業外費用合計	1,100	1,415
経常利益	40,668	27,515
特別利益		
固定資産売却益	377	—
投資有価証券売却益	—	1,478
その他	26	—
特別利益合計	404	1,478
特別損失		
固定資産除却損	203	247
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	796	—
競争法関連引当金繰入額	—	5,000
その他	13	315
特別損失合計	1,013	5,563
税金等調整前四半期純利益	40,059	23,430
法人税等	14,990	9,263
少数株主損益調整前四半期純利益	25,068	14,167
少数株主利益	346	479
四半期純利益	24,722	13,688



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,068	14,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,400	△1,459
繰延ヘッジ損益	△5	5
為替換算調整勘定	1,416	1,529
その他の包括利益合計	9	75
四半期包括利益	25,077	14,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,728	13,758
少数株主に係る四半期包括利益	349	484

## (3) (参考) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	40,059	23,430
減価償却費	11,087	12,115
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,656	△9,940
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,207	△2,878
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,654	613
法人税等の支払額	△32,354	△14,453
その他	1,033	4,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,616	13,493
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△20,911	△29,431
その他	△596	△343
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,507	△29,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長短借入金及び社債等の純増減額 (△は減少)	△894	△800
配当金の支払額	△2,863	△3,328
その他	△98	290
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,855	△3,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	214	143
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,531	△19,975
現金及び現金同等物の期首残高	91,667	116,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	81,136	96,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。